

受付番号	11		
承認番号	大歯医倫 第 110852 号		
研究課題名	咀嚼時舌運動に食品の性状が与える影響		
研究責任者	田中 順子	申請者	松尾 信至
所属	有歯補綴咬合学講座	所属	歯学研究科 有歯補綴咬合学専攻
職名	准教授	職名	大学院 1 生

申請の概要

本研究の対象は、摂食嚥下障害を認めない個性咬合を有する 65 歳以上の高齢有歯顎者 10 名とする。被験食品は三食品、各一口量とする。左右側での片側咀嚼とし、自由に嚥下して頂く。試行回数は食品ごとに 3 回とし、順序はランダム化する。舌運動の観察には超音波診断装置および電子コンベックスプローブを用い、自製した固定装置を用いて顎下部に固定する。各被験食品の咀嚼・嚥下時の舌の上下運動を描出し、得られたデータをトレース用紙に複写し、舌背から顎下部皮膚表面までの距離を、舌左右側の高さとしてデジタルノギスを用いて計測し、平均値を算出する。データより、被験食品の性状の違いが高齢有歯顎者の咀嚼時舌運動に与える影響を比較検討することで、咀嚼時舌運動の解明に寄与できると期待される。